

びしよ濡れになった
マジメな後輩を
お風呂に連れ込んだら…



ABOUT

本書は AI を活用して作成されたビジュアルコミックスです。
ストーリー、ビジュアルの両方をお楽しみください。

- ・登場する人物は全て 18 歳以上の成人を想定して作成されています。
- ・本書に登場する全ての人物・団体はフィクションです。
- ・本書には性的な描写が多数含まれます。
- ・本書のイラスト、文章、構成、デザイン等の全ての著作権は筆者に帰属します。
- ・本書の複製、編集、再配布、販売は禁止されています。
- ・本書に掲載されているイラストは AI 生成画像をベースに作成されています。

CHARACTER

白鳥かえで (21)

kaede shiratori



Deta

身長：	159 cm
体重：	48 kg
スリーサイズ：	96 - 64 - 89
好きな食べ物：	サバの塩焼き、焼肉
苦手なもの：	パクチー、怖い話、足の多い生き物
趣味：	ゲーム、料理、一人で焼肉を食べにいくこと

Profile

不動産会社で働く 21 歳の女性社員。

昔から引っ込み思案で大人しく、どちらかというと言達は少ないほう。

見た目もスタイルも良いので男性社員からの人気は高いが、誰もアプローチを仕掛けない。どうやら、みんな彼女と何を話せば良いのか分からないらしい。

表情があまり変わらないので周りからは「何を考えているか分からない不思議な人」と思われることが多いが、本人はそれを特に気にしていない。

少し大人びた見た目と正確だが、中身はけっこう「女の子」な一面がある。

— STORY —

不動産会社で働く僕には少しだけ歳の離れた後輩がいる。

少し大人びたような、それでいて少女のようでもある彼女。

仕事は淡々とこなす真面目な社員だけど、大人しくてあまり喋らないし、何を考えているのか分かりにくいところがある。だから僕もまだそこまで仲良くなれていない。

正直、彼女は可愛いし、スタイルも良い。それに、自惚れかもしれないけど、僕に少しだけ好意を持っているようにも見える…。

でも、僕と彼女はただの先輩・後輩。それ以上でも、それ以下でもない。

ある日、現地を見ながら業者と打ち合わせをすることになり、そこに彼女も同行することになった。ただ、僕たちは当日に突然の雨に見舞われてしまい、お互いにずぶ濡れになってしまう。

そこから僕たちの運命の歯車は回り始め、やがて僕たちは超えてはいけな一線を超えてしまう。

思いがけない雨が生んだ甘い時間の中で、僕たちは互いの欲望を満たし合い、心地よい背徳感に浸っていくのだった…。

びしょ濡れになった
マジメな後輩を
お風呂に連れ込んだら……



とある不動産会社
のオフィスにて

あ、先輩
おはようございます。

白鳥さん、お疲れ様
ちよつといいかな？



はい、大丈夫です。

これから一緒に
現場来てもらうけど、
準備は大丈夫？

A blonde anime girl with yellow eyes and a white button-down shirt is standing in front of a window. She has a slight blush on her cheeks. A speech bubble is on the right, and a black oval with white text is on the bottom left.

資料も先に印刷しておいたので、
私、持っていきますね。

お、さすが。
助かるよ。

白鳥かえで。

真面目で仕事もできる優秀な後輩だ。
ただ、あまり感情を表に出さないせいか、
少しだけ近づきにくい印象がある…。



A detailed anime-style illustration of a young woman with long, straight blonde hair and bangs. She has large, expressive yellow eyes and a soft, blushing expression on her face. She is wearing a white, long-sleeved button-down shirt that is slightly open at the collar, revealing a hint of her chest. The shirt has a subtle pinkish-red pattern. She is also wearing a dark grey or black skirt. The background is a simple, dimly lit indoor space with a ceiling light fixture visible. The overall style is soft and romantic.

どうしても、その柔らかそうな胸に
僕の視線は釘付けになってしまう…。

けっこう美人だし、
それに…かなりの巨乳…。




先輩、そんなに見つめて
どうかしました？

ああ、いや、なんでもない…



…よし、
とりあえず、現場向かうか。

A blonde anime girl with large breasts and a brown bag is looking surprised. She has blonde hair with bangs and yellow eyes. She is wearing a light blue short-sleeved shirt and a dark skirt. She is holding a brown bag. The background is a cityscape with rain falling. There are two speech bubbles. One is on the right, and one is on the bottom left.

あれ…
ちよつと天気悪くなってきましたね…

ああ、そうだね…

A blonde anime girl with yellow eyes is looking upwards with a hopeful expression. She is wearing a light blue short-sleeved shirt and a black skirt. She is holding a brown paper bag in her right hand. The background shows a city skyline with tall buildings under a rainy sky. A speech bubble is on the left side of the image.

今日外で打ち合わせの予定でしたけど、
大丈夫でしょうか…？

サー

サー

けっこう降ってきたし、
一度電話で確認してみようか。





もしもし、
お世話になっております。
…はい。
ああ、そうですか…
分かりました。



ああ…そうですよね。
外の現場ですもんね。

…白鳥さん、この雨だと
今日の打ち合わせは無しだって…



けっこう濡れちゃったね。
寒くない？大丈夫？

はい…。

A blonde anime girl with large breasts and a brown suitcase is standing in the rain. She has a sad expression and is looking down. The background shows a city skyline.

シャツが濡れちゃって…

あの…
寒くは無いんですけど、



いえ…無いです。
どうしよう…。

ああ、そうだよね。
オフィスに替えのシャツある？

うわ…シャツが濡れて、
下着見えちゃってるじゃん…



先輩…
そんなに見ないでください。


透けちゃってるのは、
私も分かってるので…






恥ずかしがってる表情も
けっこう可愛いじゃん…♡

あ、いや、ごめん。
寒そうだなと思ってや…



先輩にこんな格好見られるなんて…
どうしよう…、恥ずかしい…

じゃあ、それなら…

A blonde anime girl with long hair and bangs, wearing a white short-sleeved button-down shirt and a black skirt. She has a pink blush on her cheeks and a surprised expression. She is standing in the rain, with a city skyline visible in the background. A speech bubble is on the left, and a large black oval with white text is on the right.

えっ？


僕の家この近くなんだけど、
ちよつと寄っていいく？

濡れたままじゃ寒そうだし

えっと…
でも…

サイズ合わないかもしれないけど、
僕のシャツは貸せるからさ





はい…

それに…
透けたままじゃ、
会社戻れないでしょ？



あの、本当に大丈夫ですか…？
急にお邪魔しちゃって

うん、大丈夫。
すぐ近くだから、行こうか。